

令和2年度 教科シラバス（デザイン・コース）

教 科	立体構成（工芸）	科 目	
単位数	4単位		
教科書	日本文教出版「高校生の美術1」	副教材	なし

学習目標

様々な素材の特徴を活かしながら、デザイン立体構成・工芸・彫塑の基礎を学ぶ。
立体的に物事を捉える力を身につけて、デッサン力向上及び創意工夫力の向上を目指す。

前期（4～9月）	後期（10～2月）
① 幾何学構成 ② 紙立体 ③ 工芸 ④ 粘土構成	① 彫塑

学習方法

授業内の指示を良く聞き、積極的にメモを取る事。制作過程や素材についてを自分なりに理解し、制作を行いましょ。また完成させるだけでなく、講評を参考にしながらより良いものを作る様に復習を重点的に行ってください。

評価方法

課題の内容に沿って工夫し、表現出来ているか。目的がずれていないかで作品を評価する。
またどこから見てもバランスが良 いか、未完成部分や丁寧さ・提出期限・作品の完成度等で総合的に判断する。

令和2年度 教科シラバス（デザイン・コース）

教科	美術	科目	立体構成 彫塑
単位数	2単位（後期）		
教科書	『高校生の美術2』（美Ⅱ304） （日本文教出版） 『工芸Ⅰ』（工Ⅰ301）（日本文教出版）	副教材	なし

学習目標

彫塑に関する学習を通して、造形的な見方・感じ方を働かせ、専門的な美術に関する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- （1）表現形式の特性について理解を深めるとともに、専門的な技能を身に付けるようにする。
- （2）表現及び鑑賞に関する創造的な思考力、判断力、表現力等を育成する。
- （3）彫塑表現の可能性を追求する態度を養う。

学習内容

前期（4～9月）	後期（10～2月）
	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎的な彫塑・塑像を中心に学習する。 ・学習の中心は以下の通り。 <ol style="list-style-type: none"> ① 道具の説明 ② 粘土の特性の理解 ③ 芯材の組み方 ④ 模刻1 ⑤ 模刻2

学習方法

デザインアートコース	
	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書や資料を活用する。 ・授業に参加し、活動を通して内容の理解を深める。 ・わからない部分や疑問点については、授業時に質問して明らかにする。 ・期限を守って提出する。

評価方法

出席、授業態度、提出物、作品、レポートなどで総合的に判断し評価する。